

Pro

Chapter 26

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

לְכַסִּיל	נֶאֱוָה	לֹא־	כֵּן	בְּקִצִּיר	וּכְמֶטֶר	בְּקִיץ	וּכְשֶׁלֶג	1
愚か者には	ふさわしくない	ふさわしく-ない	そのように	収穫に	雨の-ように	夏に	雪の-ように	
H3684	H5000	H3808			H4306	H7019	H7950	
							כְּבוֹד:	
							誉れは	
							H3519	

誉が愚かな者にふさわしくないのは、夏に雪が降り、刈入れの時に雨が降るようなものだ。

(לּוֹ)	לֹא־	חָנֵם	קָלֵלִית	כֵּן	לָעוֹף	כְּדֶרֶךְ	לְנוֹד	כְּצִפּוֹר	2
彼には	—	いわれなき	のろい	そのように	飛ぶ	つばめの-ように	さまよい	雀の-ように	
	H3808	H2600	H7045			H1866	H5110	H6833	
								תָּבֵא:	
							来ない		
							H0935		

いわれのないのろいは、飛びまわるすずめや、飛びかけるつばめのようなもので、止まらない。

כְּסִילִים:	לְגַב	וְשֵׁבֶט	לְחֻמּוֹר	מִתְנַן	לְסוּס	שׂוֹט	3
愚か者たち	の-背に	そして-杖は	ろばに	くつわは	馬に	革むち	
H3684		H7626	H2543	H4964		H7752	

馬のためにはむちがあり、ろばのためにはくつわがあり、愚かな者の背のためにはつえがある。

גַּם־	לּוֹ	תִּשְׁוֶה־	פָּנֶיךָ	כְּאוֹלְתּוֹ	בְּסִיל	תַּעֲנֵן	אֶל־	4
さえも	彼と	等しく-なる	さもなくば	その-愚かさに-応じて	愚か者に	答えるな	答える-な	
H1571			H6435	H0200	H3684		H0408	
							אֶתְּךָ:	
							お前も	

愚かな者にその愚かさにしたがって答をするな、自分も彼と同じようにならないためだ。

בְּעֵינָיו:	חָכֵם	יְהִי	פָּנֶיךָ	כְּאוֹלְתּוֹ	בְּסִיל	עֲנֵה	5
自分の-目に	知恵ある-者と	なる	さもなくば	その-愚かさに-応じて	愚か者に	答えよ	
	H2450	H1961	H6435	H0200	H3684		

愚かな者にその愚かさにしたがって答をせよ、彼が自分の目に自らを知恵ある者と見ないためだ。

כְּסִיל:	בְּיַד־	דְּבָרִים	שְׁלַח	שָׂתָה	חָמַס	רַגְלִים	מִקְצָה	6
愚か者	の-手に-よって	伝言を	送る-者は	飲む	不法を	足を	切り-落とす	
H3684	H3027	H1697	H7971	H8354	H2555	H7272	H7096	

愚かな者に託して事を言い送る者は、自分の足を切り去り、身に害をうける。

כְּסִילִים:	בְּפִי	וּמִשָּׁל	מִפְסָח	שְׁקִים	דְּלִינוֹ	7
愚か者たち	の-口に	そのように-箴言は	足の-不自由な-者から	両足が	垂れ下がる	
H3684	H6310	H4912	H6455	H7785	H1809	

あしなえの足は用がない、愚かな者の口には箴言もそれにひとしい。

8
 כָּבוֹד׃ לְכֹסִיל׃ נוֹתֵן׃ כֵּן׃ בְּמַרְיָמָה׃ אֶבֶן׃ כְּצִרְוֹר׃
 誉れを 愚か者に 与える-者は そのように 石投げに 石を 石を-縛る-ように
[H3519](#) [H3684](#) [H5414](#) [H4773](#) [H0068](#)

誉を愚かな者に与えるのは、石を石投げにつなぐようだ。

9
 חוֹחַ׃ עֹלָה׃ בִּיד־׃ שְׂכוֹר׃ וְיִמְשָׁל׃ בְּפִי׃ כְּסִילִים׃
 茨が 上がる の-手に 酔っぱらい そのように-箴言は の-口に 愚か者たち
[H2336](#) [H5927](#) [H3027](#) [H7910](#) [H4912](#) [H6310](#) [H3684](#)

愚かな者の口に箴言があるのは、酔った者が、とげのあるつえを手で振り上げるようだ。

10
 רֶב׃ מְחַלְלֵל-׃ כָּל׃ וְשׂוֹכֵר׃ וְשׂוֹכֵר׃ עֲבָרִים׃
 射手が 傷つける すべてを そして-雇う-者は 愚か者を また-雇う 通りがかりを
[H3605](#) [H3684](#)

通りがかりの愚か者や、酔った者を雇う者は、すべての人を傷つける射手のようだ。

11
 בְּכַלְב׃ שָׁב׃ עַל-׃ קָאֵן׃ כְּסִיל׃ שׁוֹנֶה׃ בְּאַנְלָתוֹ׃
 犬のように 戻る に その-吐いた-ものに 愚か者は 繰り返す その-愚かさを
[H3611](#) [H7725](#) [H3684](#) [H0200](#)

犬が帰って来てその吐いた物を食べるように、愚かな者はその愚かさを繰り返す。

12
 רְאִיתָ׃ אִישׁ׃ חָכְם׃ בְּעֵינָיו׃ תִּקְוָה׃ לְכֹסִיל׃ מִמֶּנּוּ׃
 見たか 人を 知恵ある-と 自分の-目に 望みが-ある 愚か者に 彼よりも
[H7200](#) [H0376](#) [H2450](#) [H3684](#)

自分の目に自らを知恵ある者とする人を、あなたは見るか、彼よりもかえって愚かな人に望みがある。

13
 אָמַר׃ עֲצַל׃ שָׁחַל׃ בְּדַרְדָּר׃ אֲרִי׃ בֵּין׃ הַרְחֻבוֹת׃
 言う なまけ者は 獅子が 道に 獅子が の-間に 広場
[H0559](#) [H6102](#) [H7826](#) [H1870](#) [H0996](#) [H7339](#)

なまけ者は、「道にししがいる、ちまたにししがいる」という。

14
 הִדְלַת׃ תִּסּוּב׃ עַל-׃ צִירָה׃ וְעֲצַל׃ עַל-׃ מִטָּתוֹ׃
 戸が 回る の-上で その-ちょうつがい その-ちようつがい の-上で その-寝台
[H5437](#) [H6102](#) [H6102](#) [H6102](#) [H4296](#)

戸がちょうつがいによって回るように、なまけ者はその寝床で寝返りをする。

15
 טָמֵן׃ עֲצַל׃ יָדוֹ׃ בְּצַלְחַת׃ נִלְאָה׃ לְהִשְׁיבָה׃ אֶל-׃ פִּיו׃
 埋める なまけ者は その-手を 皿に 疲れる 戻す-ことを に その-口に
[H2934](#) [H6102](#) [H3027](#) [H6747](#) [H3811](#) [H7725](#) [H0413](#) [H6310](#)

なまけ者は手を皿に入れても、それを口に持ってゆくことをいとう。

16
 חָכְם׃ עֲצַל׃ בְּעֵינָיו׃ מְשַׁבְּחָה׃ מְשִׁיבִי׃ טָעַם׃
 知恵が-あると なまけ者は 自分の-目に 七人の 答える-者より 道理ある
[H2450](#) [H6102](#) [H7651](#) [H7725](#) [H2940](#)

なまけ者は自分の目に、良く答えることのできる七人の者よりも、自らを知恵ありとする。

17
 מְחַזֵּק׃ בְּאָזְנֵי-׃ כָּלֵב׃ עָבַר׃ מִתְעַבֵּר׃ עַל-׃ רִיב׃ לֹא-׃ לוֹ׃
 つかむ の-耳を 犬 通り-がかりが 怒る に-ついて 争いに 彼の 自分の-でない
[H2388](#) [H0241](#) [H3611](#) [H7379](#) [H3808](#)

自分に関係のない争いにたずさわる者は、通りすぎる犬の耳をとらえる者のようだ。

18 כַּמְתֵּלְהֶלֶה הִירָה זָקִים חֲצִים וּמּוֹת:
狂人の-ように 放つ-者は 火花を 矢を そして-死を
H4194 H2671

19 כֹּן- אִישׁ רָמָה אֶת- רַעְהוּ וְאָמַר הֲלֹא- מְשַׁחֵק אֲנִי:
そのように 人は 欺いた を 隣の-人を その-言う ではないか 冒談だと 私は
H0589 H7832 H3808 H0559 H7453 H0853 H0376

隣り人を欺いて、「わたしはただ戯れにした」という者は、燃え木または矢、または死を、投げつける気違いのようだ。

20 בְּאֵפֶס עֵצִים תִּכְבֶּה- אֵשׁ וּבְאֵין יִרְדּוּן יִשְׁתַּק מְדוּן:
なくなれば 薪が 消える 火は なくなれば 陡口が 静まる 争いは
H4066 H8367 H5372 H0369 H0784 H3518 H6086

たきぎがなければ火は消え、人のよしあしを言う者がなければ争いはやむ。

21 פְּתָם לְנִחְלִים וְעֵצִים לְאֵשׁ וְאִישׁ [מְדוּנִים] (מְדִינִים) לְחַרְחַר- רִיב:
炭は 火に-燃える 薪は 火に そして-人は 一 争い好きの 争いを あおり-立てる
H7379 H2787 H4066 H4066 H0376 H0784 H6086 H1513 H6352

פ
—

おき火に炭をつぎ、火にたきぎをくべるように、争いを好む人は争いの火をおこす。

22 דְּבָרֵי וְרָדוּן כַּמְתֵּלְהֶמִים וְהֵם יָרְדוּ חֲרָרֵי- בֶטֶן:
の-言葉は 陡口の 美味な-ものの-ようだ そして-それらは 下る の-奥まで 腹
H0990 H2315 H3381 H1992 H3859 H5372 H1697

人のよしあしをいう者の言葉はおいしい食物のようで、腹の奥にしみこむ。

23 כֶּסֶף סִינִים מְצַפָּה עַל- חֲרָשׁ שְׁפָתִים דְּלִקִים וְלִב- רֵעַ:
銀の かす 上塞ぎした の-上に 土器 の-唇は 燃える と-残念な 心
H1814 H8193 H2789 H6823 H5509 H3701

くちびるはなめらかであっても、心の悪いのは上ぐすりをかけた土の器のようだ。

24 [בְּשַׁפְתּוֹ] (בְּשַׁפְתּוֹ) יִנְכַר שׁוֹנֵא וּבְקִרְבוֹ יִשֵּׁת מְרָמָה:
— その-唇で 偽る 恨む-者は 企む その-内に 欺きを
H4820 H7896 H7130 H8130 H8193 H8193

憎む者はくちびるをもって自ら飾りけれども、心のうちには偽りをいдаく。

25 כִּי- יִחַן קוּלוֹ אֵל- תְּאָמֶן- בּוֹ כִּי שֶׁבַע תּוֹעֵבוֹת
たとえ 優しく-する その-声を 信じる-な 信じるな 彼を なぜなら 七つの 忌まわしき-ものが
H8441 H7651 H0539 H0408

בְּלִבּוֹ:
その-心に

彼が声をやわらげて語っても、信じてはならない。その心に七つの憎むべきものがあるからだ。

26 תִּכְסֶה שְׁנֵאָה בְּמִשְׁאוֹן תִּנְלָה רַעְתּוֹ בְּקֶהֱל:
覆われても 恨しみは 欺きで あらわれる その-悪は 会衆-中で
H6951 H1540 H4860 H8135 H3680

たとい偽りをもってその憎しみをかくしても、彼の悪は会衆の中に現れる。

תָּשׁוּב:	אֱלֹו	אֶבֶן	וְגִלְגַּל	יִפֹּל	בָּהּ	שָׁחַת	קָדַח-	27
戻って-くる	彼に	石を	転がす-者は	落ちる	それに	穴を	掘る-者は	
H7725	H0413	H0068	H1556	H5307		H7845		

穴を掘る者は自らその中に陥る、石をまろばしあげる者の上に、その石はまろびかえる。

מִדְּחָה:	יִשְׂשָׂה	חָלַק	וּפָה	רָכַיו	יִשְׂנָא	שָׂקַר	לְשׁוֹן-	28
滅びを	もたらず	へつらいの	そして-口は	その-傷つけた-者を	恨む	偶りの	の-舌は	
H4072		H2509	H6310	H1790	H8130	H8267	H3956	

偽りの舌は自分が傷つけた者を憎み、へつらう口は滅びをきたらせる。